

東京教研「人権と教育」分科会

主催第68次東京教研実行委員会

〈テーマ〉多文化共生社会を目指し、世界の基礎教育保障、国際理解教育、外国人の子ども達の進学保障を考える

夜間中学やネパールでの基礎教育保障の問題、国際理解教育の問題、外国人の高校進学ガイダンス等の問題について交流・意見交換をしたいと思っております。ぜひご参加ください。

1 日 時

2019年1月27日(日)

10時～16時30分(9時45分受付開始)

2 会 場

板橋区立成増小学校(板橋区成増1-11-1)
東武東上線「成増駅」から徒歩5分
東京メトロ「地下鉄成増駅」から徒歩3分

《成増小学校》



3 内 容 〈レポートと討論〉

■午前の部(10時～12時30分)

①清水幸子さん(夜間中学卒業生)

テーマ「夜間中学が広げてくれた私の人生」

～15才で中国から帰国し夜間中学に入学。年齢・国籍・文化・経験等、多様な環境の中で感動し影響を受け、世界の広さを実感した。その後、アメリカへ留学し日本へ戻る。今、グローバルな社会作りに貢献したいと思っている。～ ※清水幸子さんは下記映画「こんばんはⅡ」にも出演

【夜間中学ドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」上映】(約37分)

～2003年の夜間中学ドキュメンタリー映画「こんばんは」(森康行監督)完成から15年。2016年に「義務教育機会確保法」が成立し2018年には閣議決定で「各都道府県に最低1校の夜間中学開設」が国の方針になった。2019年度には川口市と松戸市に公立夜間中学が開設されるが、今後全国的に夜間中学開設の機運を作るため森監督の全面的協力を得て映画「こんばんはⅡ」制作。この日は映画上映を行う～

②森康行監督(映画監督)

テーマ「映画『こんばんはⅡ』を撮り終えて思うこと」

～今回は自主夜間中学も含めていじめにあい形式卒業で苦しみ、自主夜間中学で再び学び始めた若者、貧困の中で学びを求めようやく夜間中学に辿り着いた婦人、日本に住んでいる外国人の方々等、今学びを求めている人たちに体験を通じて夜間中学を語っていただこうと思っています。(記者会見資料より抜粋)～

■午後の部(13時30分～16時30分)

③道端ひさなさん(都内小学校教諭・NPO法人ネパール野球ラリグラスの会理事)

テーマ「国際理解教育の意義とその実践」

～2020年に向けて、オリパラ教育や英語や道徳の教科化が進められています。小学校教員とNPO理事の立場から、実践事例を紹介するとともに、国際理解教育の意義について話します。～

④スダリミカさん(歌手・スダリ国際支援連絡会議)

テーマ「ネパールの公立学校に通う貧困世帯の子供たちの学習権保障問題を解決するためのマイクロプロジェクトの実例」

～2015年4月にあったネパール大震災を機に始めた補習塾プロジェクトについての報告。ESD的な視点から考えデザインする、質の高い教育を広くネパールの公立学校に普及させていく試みについて話します。～

⑤中山真理子さん(NPO法人多文化子ども自立支援センター代表理事)

テーマ「子と親のための『多言語高校進学ガイダンス』から見えるもの」

～毎年の中野区国際交流協会と共催で行っている『多言語高校進学ガイダンス』は外国にルーツのある子どもたちの高校受験問題の集約された問題提起の場でもあります。現場での状況を報告しながら、彼らの本当に知りたい情報は何か、どんなことをどのように彼らに提示できるかなど、皆さんと考えたいと思います。～

【全体討論】

4 参加費 無料です。教職員、ボランティア、研究者、一般市民、外国人市民等、どなたでも参加できます。

5 連絡先 世話人 関本保孝(えんぴつの会・ピナット) TEL090-1857-5667 中川恵理(大田区・糀谷中夜) 道端寿名(足立・舎人小)

共同研究者 江口千春(子どもの権利条約をすすめる八王子の会)

中山真理子(NPO法人多文化子ども自立支援センター)

幅崎麻紀子(埼玉大学 研究企画推進室・ダイバーシティ推進オフィス)